

浦添市立中央公民館だより



第324号

令和6年9月発行
浦添市立中央公民館
〒901-2114
浦添市安波茶1丁目1番2号
電話:098-879-5503
FAX:098-879-5530
kominkan@city.urasoe.lg.jp



中央公民館講座 夏休み特集!!☀

7/24・25 社会科新聞づくり 中学生(10名受講)



情報を収集し、編集する力を現役の新聞記者から学びました。初日は琉球新報の関戸さんから取材のし方や心構えを学び、中学生記者として松本市長へ囲み取材のインタビューをしました。市長になった理由や浦添の歴史について等の質問があり、中には鋭い質問も飛び出すなど、活気のある取材になりました。2日目は沖縄タイムスの又吉さんから紙面構成のねらいや読み方を学び、市長インタビューの記事をまとめ新聞を作成しました。生徒からは「貴重な経験ができた」「新聞を作る大変さや楽しさがわかった」との感想がありました。

7/26・27・28 獅子舞アート講座 小4～中3(8名受講)



元勢理客獅子舞保存会会長の仲西正勝先生に獅子舞の歴史や地域のお祭りの話を聞きました。喜舎場亜子先生に水彩画について丁寧に教えてもらい3日間かけて、水彩画を仕上げました。「今までに、ししまいのことは何もわからなかったけど、この講座や動画を見て聞いて、意外とかわいいなとイメージがかわりました。」との感想があり、公民館の掲示板は8名の自由に描いた獅子舞の水彩画でにぎやかになりました。

8/4 理科工作体験 小1～小3(18名受講)



小学校低学年生を対象に、工作を通して理科に触れることを目的に、琉球大学理学部教員の方々を講師に招いて「理科工作体験」を開催しました。講座前半ではやじろべえ・コマを作りました。子どもたちはおもいおもいの形にやじろべえ・コマを作り、やじろべえのバランスやより回るコマの形を探っていました。講座後半ではブーメラン・リングひこうきを作りました。シンプルな形ながらよく飛ぶひこうき・ブーメランに子どもたちは興味津々でした。子どもたちからは「ブーメランが戻ってくるのが不思議だった」「もっと遊びたい！」との感想があがり、楽しみながらも不思議な動きに興味を持っている様子でした。

8/5 ものづくり理科教室 小1～小3 (11名受講)



「理科教室体験」に100名もの応募があったため急遽企画されました。経塚在住の新城秀樹氏を講師に迎え、親子で楽しみながら理科に触れる内容でした。子どもたちは保護者に手伝ってもらいながら、バランストンボ・紙コプターを一生懸命に作りました。バランストンボを指に乗せたり、紙コプターがより回るように試行錯誤したりととても楽しんでいました。講座の中でも子どもたちの興味を引いたのはドライアイス爆弾。ドライアイスの入ったフィルムケースのフタが飛んで行く様子を爆弾に見立てており、音を上げ飛ぶ爆弾に子どもたちだけでなく保護者も楽しんでいました。「子供が作りながら『たのしい!』と言っていた。私も一緒に楽しめました」との感想があるなど、親子で楽しむにぎやかな講座となりました。

8/9 自然にふれて、切り絵で表現！～オオゴマダラ講座～ 小1～小6(15名受講)

講師：與儀ひとみ(オオゴマダラを楽しむ会)、吉嶺裕司(昆虫切り絵作家)

「わあーい！公民館がチョウハウスになったよ！」優雅に舞うオオゴマダラの姿に子どもたちの歓声が上がります。本物のオオゴマダラに触れる機会と初めて挑戦する昆虫切り絵の講座に、皆な興味津々で、自然観察と工作を満喫する時間となりました。

◆◆講師から“学ぶあなたに”応援メッセージ◆◆

- 初めての試みの出張オオゴマダラ講座でした。チョウを身近に感じられて良かったです。講座をキッカケに壁新聞まで作成した児童もいたようで私も勉強になりました😊ハウスにも遊びにきてね。(ヨギ)
- 私が切り絵を作るとき、どれだけリアルに表現できるかを追求しています。本物のオオゴマダラと触れあいながら講座ができたことは、私にとっても貴重な経験でした。皆さんまたね。(ヨシミネ)



中央公民館講座 おでかけ自治公民館講座
9/5 城間自治公民館 わくわくスマホ講座

講師：又吉 岐吏子氏（ソフトバンク社スマホアドバイザー）
城間公民館で行われたスマホ講座には16名の参加がありました。講座ではLINEのグループ機能や音声入力、Google レンズ、QR コードなど、スマホの便利な機能について体験しました。中でもGoogle レンズは好評で、写真を撮るだけで植物や建築物の名前、難読漢字や外国語などが簡単に調べられることに皆さん興味深々でした。スマホの使い方が広がると生活が便利になりますね。



各自治公民館 続々開催！

自治公民館講座の終了報告が届きました

上野自治公民館

◆6/16・23・7/7(3回)
『米粉や麴を使った
料理講座』

講師：翁長由紀子氏
参加者のべ 28人



◆8/4・10(2回)
『かぎやで風・盆踊り講座』

講師：伊佐 春香氏
仲原 浩美氏
参加者のべ 10人



茶山自治公民館

◆7/3・10・17(3回)『操体法』

講師：古堅 悦子氏
参加者のべ32人

操体法はからだの声を聞きながら、からだをゆっくり気持ちよく動かしてバランスを整える運動法です。受講者は「動きを覚えて自宅でもやりたい」と、自分のためのボディメンテナンス・健康維持を学ぶ機会となりました。



県営沢岬高層住宅自治公民館

◆8/6 『夏休みシーサー色ぬり体験』

講師：平良 祐章氏
感想：色塗り体験を通して子どもたちの感性を知ることができました。今回は絵の具で色を塗ったけど、次回はほかにもやってみたい。

城間自治公民館

◆8/1・8・15(3回)
『ヨガ・ピラティス講座』

講師：亀谷 舞氏
参加者のべ 23人

感想：最初は体を動かしにくかったのですが、回を重ねる毎に動かせるようになって楽しかったです。今後も続けていきたいと思っています。



◆8/22・29(2回)
『エコ クラフト講座』

参加者のべ 16人
感想：初めてだったが、何とか最後まで仕上げることができてよかった。次はかばんも作ってみたい。



当山自治公民館

◆7/7 『防災講座』

講師：鈴木 伸章氏
参加者 37人



緑ヶ丘自治公民館

◆7/16・23 『折り紙講座』

参加者のべ 40人
感想：立体飛龍はとても素晴らしく、美しい。完成させてうれしい。正月の飾り物にしたい。



当山ハイツ自治公民館

◆8/3・14・21・26・29(5回)
『楽しく盆踊り』

講師：仲間 次子氏
参加者のべ38人



公民館の取組み

公民館と「かかわる」きっかけに

高校生・大学生の活用

「公民館に若者が来ない」という悩みは、どこの自治体でも抱える課題。そんな課題を打破すべく、浦添市立中央公民館では、3つの取組みを強化しています。おかげで、ここ数年、公民館において高校生・大学生の姿を多く目にするようになりました。“まずは、関わってもらうことから”。浦添市の取組み事例とともにご紹介します。

1 ボランティア

夏休み講座・いきいきまつり

まずは、中央公民館講座やイベントにおける運営ボランティアの募集です。夏休み特集「獅子舞アート講座」では浦添高校16名・浦添商業高校1名が講座運営や作品展示の装飾を手伝ってくれました。また、「うらそえ社会教育いきいきまつり2024舞台発表」では、司会・舞台転換・出演者誘導に浦添高校・陽明高校・那覇工業高校・首里高校・沖縄特別支援学校・琉球大学・沖縄国際大学から合計19名がスタッフとして参加し、まつりを盛り上げてくれました。参加者には「ボランティア証明書」を発行しています。



▲作品掲示用の折り紙を一緒に作成する高校生

2 講師の起用

いきいきまつり講座

次に、中央公民館講座における講師の起用です。高校生を対象とした「チョークアート講座」では、県立芸術大学の学生が、まつりに向けた連続講座「キッズHIPHOP講座」では市内のダンスチーム HOMELAND OKINAWA に所属する大学生・高校生が中心となって、講師を務めてくれました。年代が近い講師を起用することで、受講する児童生徒らにとっては身近かつロールモデルとなり、教える側の高校生や大学生も自身の学びとなる「THE・社会教育」の輪が広がっています。



▲ヒップホップダンスの講師を務める大学生と補助の高校生

3 職場体験

インターンシップ

最後は、インターンシップ(職場体験)の積極的な受入れです。単に事務を行うだけでなく、社会教育主事から社会教育・公民館について学び、サークル体験、講座の企画会議、講座補助など、バラエティーに富んだ「公民館らしい」就業メニューに努めています。今年度は、沖縄高等特別支援学校から1名・琉球大学から4名の学生を受入れました。冲高特支生には、城間公民館でのスマホ講座の補助や券売機の集金、琉大生には、次年度に向けた講座の企画会議や公民館広報誌『いきいき』(本号1~3面)の編集に取り組んでもらいました。



▲サークル(琉球かれん)を体験し交流する大学生

